

1. 木質バイオマス関連情報

■資源エネルギー庁新エネルギー課（東京）、「2020年度中のFIT認定の申請にかかる期限日について」公示。バイオマス（他省庁協議不要）の新規・変更認定申請期限日は12月18日（金）。バイオマス（他省庁協議必要）の新規・変更認定申請期限日は2020年12月4日（金）【資源エネ庁：2020/06/17】

https://www.enecho.meti.go.jp/category/saving_and_new/saiene/kaitori/dl/announce/20200617.pdf

■ドイツのシーメンス、日本で火力発電設備など電力事業の新体制を始動。ドイツ本社が事業再編で電力事業を分社化したのに合わせ、日本でも6月から分社し、新たな事業体制に移行。シーメンス日本法人（東京）は6月1日付で発電や送配電関連事業を新会社「シーメンス・エナジー（株）」（東京）に譲渡。一方、日本での再生可能エネルギー関連事業はシーメンス・エナジーとは別に、単独の事業として続ける。既に国内で9件のバイオマス発電向け蒸気タービンを受注していることも明らかに【日本経済新聞：2020/06/22、シーメンス日本法人：2020/04/10】

<https://www.nikkei.com/article/DGXMZ060623840S0A620C2X-A0000/?ct=ga>

<https://new.siemens.com/jp/ja/kigyou-jouhou/press/pr-se20200410.html>

■前橋バイオマス発電所（群馬）控訴審で住民側敗訴。前橋バイオマス発電所（最大出力6,750kW）は、東京電力のグループ会社（株）関電工（東京）と（株）トーセン（栃木）が出資して建設。2018年3月営業運転を開始。燃料となる間伐材の放射能汚染の懸念等から地域住民らが群馬県を相手どり、2016年に提訴。建設の前に不当に基準を変更して環境アセスメントを免れさせたとして、事業補助金4億8千万円の返還を求めた裁判。2019年10月に出された前橋地裁の第一審判決では、群馬県が含水率を差し引いて排出ガス量を計算するよう条例を変更した排ガス基準の運用は、全国の他の自

治体では存在しないものの、4万m³/時という群馬県の基準は厳しいものであり、基準変更による環境アセスの未実施に違法性はないとした。これに反論する住民側は控訴。しかし東京高裁は6月22日、住民側の訴えをいずれも棄却する控訴審判決を下した。木材チップの放射能検査や騒音被害に関する訴えも第一審同様に棄却され、新たな判断は示されなかった。住民側は上告を予定【alterna：2020/06/23】

<http://www.alterna.co.jp/31367>

■三菱重工エンジニアリング（株）（神奈川、以下

「MHIENG」と英国の電力会社Drax社は、Drax社が英国ノース・ヨークシャー州に保有するバイオマス発電所を対象に、2020年秋からCO₂回収パイロット試験を実施することで合意。12カ月間にわたるパイロット試験において、一日約300kgのCO₂を回収し、バイオマス燃焼排ガスへの適用性と性能を確認する。これまでMHIENGが納入した全てのCO₂回収プラントで採用されているKS-1TMと、MHIENGと関西電力（株）（大阪）との共同研究で技術改良を続けて開発したKS-21TMの2種類のアミン吸収液を用いた試験が行われる予定。Drax社は2030年までにカーボン・ネガティブ（CO₂排出量が吸収量を下回り正味マイナスとなる状態）企業を実現するという目標達成に向けたステップとして、今回の実証試験を行う。植物由来の燃料を使うことによりCO₂排出量を正味ゼロ（カーボン・ニュートラル）にできるバイオマス発電と、排ガスからのCO₂回収技術を組み合わせたBECCS（Bio Energy with Carbon dioxide Capture and Storage）プロジェクトを通じて、世界初となる商用規模でのネガティブ・エミッション（CO₂排出量が正味マイナス）社会の実現に向けて両社で協力を進めていく【三菱重工：2020/06/24】

<https://www.mhi.com/jp/news/story/200624.html>

■（株）タケエイ（東京）、電力の小売事業を行うため、6月11日付で100%出資の「（株）ふくしま未来パワー」（福島）を設立。タケエイグループは2015年に売電を開始した（株）

津軽バイオマスエネルギー（青森）を皮切りに合計4か所の木質バイオマス発電所を運営しており、福島県の田村市産業団地内に建設中の（株）田村バイオマスエネルギー田村バイオマス発電所は5カ所目となる。ふくしま未来パワーは、田村バイオマスエネルギーで発電した電気を販売する。田村市は阿武隈高原中部に位置する自然豊かな地域で、燃料となる間伐材の安定供給に適している。売電開始時期は田村バイオマスエネルギーの事業開始と同じ2021年1月の予定【（株）タケエイ：2020/06/25】

<https://ssl4.eir-parts.net/doc/2151/tdnet/1852615/00.pdf>

■（株）モリショウ（大分）、グループ会社の日本フォレスト（株）（大分）が大分県中津市内に新しく建設する中津工場の建設にあたり、6月24日に安全祈願祭を実施。同工場は2021年に商業開始する福岡県京都郡苅田町の苅田バイオマスエネルギー（株）に供給する木質チップ燃料製造のために新設するもの。原料には地域の山林未利用・低質材を活用する。中津工場の操業開始は2021年1月の予定【（株）モリショウ：2020/06/25、2020/01/27】

<http://www.morisho.co.jp/news/detail.php?id=202006251106347161>

<http://www.morisho.co.jp/news/detail.php?id=202001280920495194>

■和歌山県新宮市市長、6月25日の市議会本会議で、木質バイオマス発電所建設のため業者に売却した同市佐野の新宮港第2期工業用地から産業廃棄物が見つかったと報告。市が2018年9月に約8億円で売却し、現在（株）エフオン（東京）のグループ会社「（株）エフオン新宮（東京）」が発電所建設工事をしている区画（5万2,823.15㎡）の一部。工事の際に、土中からコンクリートがらや建設資材の「溶融スラグ」とみられるものが見つかった。ほとんどが地表から深さ数十センチの場所。現場に積み上げている廃棄物が混入した土砂は約6,500㎡に上っており、処理にかかる費用は現在積算中という。廃棄物が混入した経緯は不明で、市議会は同日百条委員会（7人）を設置する決議案を全会一致で可決。委員長は「撤去費用は1億円規模になることが想定され、市民に莫大な負担を強いることになる。しっかりと原因と責任の所在を解明したい」と話した【紀伊民報：2020/06/26】

<https://www.agara.co.jp/article/67756>

■創価大学理工学部（東京）らが推進する国際共同研究の一端が科学技術振興機構（JST）および国際協力機構（JICA）による地球規模課題対応国際科学技術協力プログラム

（SATREPS）において採択。研究開発課題は「ナイルの源流エチオピア・タナ湖で過剰繁茂する水草バイオマスの管理手法と有効利用プロセスの確立」。エチオピア最大でナイル川の源流でもあるタナ湖では外来植物ホテイアオイが東京23区の面積に匹敵するほど過剰に繁茂し、様々な環境・経済問題を引き起こしている。SATREPSの実施チームは創価大学を主幹校として、滋賀県立大学、滋賀県琵琶湖環境科学研究センター、三菱UFJリサーチ&コンサルティングの国内4機関と、バハルダール大学、インジバラ大学、タナ湖周辺水域保護開発機構のエチオピア3機関で構成。プロジェクトの事業内容は、ホテイアオイ・バイオマスの推定と刈り取り方法の確立、収穫されたホテイアオイからメタンガス・バイオ炭（炭化物）・栄養を回収するプロセスの開発等4つの研究テーマに分かれる。研究期間は今年度の準備期間を含め2021年度～2025年度までの5年間【創価大学：2020/06/26】

<https://www.soka.ac.jp/news/2020/06/4933/>

■フォレストエネルギー（株）（東京）、宮崎県都農町で「超早生樹」（ハコヤナギ）の植林試験を開始。同社は都農町が2019年度に総務省「地域経済循環創造事業交付金」を活用し、進めてきた『都農町分散型エネルギーマスタープラン』づくりに参画し、大学等の研究機関等と実践的検討を行ってきた。特に早生樹に関して、東京大学の研究をベースに設立された（株）本郷植林研究所とともに先行的に町内の耕作放棄地等に植林試験を行うとともに、チップ化試験や燃料分析を実施。それらの成果を踏まえて2020年度にはマスタープランの実現に向けて、都農町、本郷植林研究所、東京大学、宮崎大学、都農ペレット工業（株）等と連携し、早生樹の植林試験を本格化する。具体的には7月までに、都農町内の口蹄疫埋却地（約2,000㎡）に早生樹の苗を約500本植林し、その後草刈りや施肥などのメンテナンスを行いながら生育実証試験を行う。マスタープランでは、町内に地域燃料乾燥センターを設け、そこに最先端技術を備える木質バイオマスガス化設備を導入。地域の未利用材を燃料としてガス（温風）を発生させ、伐採現場等で発生した低質木材や、超早生樹から製造したウッドチップを乾燥させ、これを燃料とする木質バイオマス熱電併給設備を町内の防災拠点や避難所等に導入。

平時は電気と熱を 24 時間発生させ、災害時等の停電の際には自立型の発電・発熱設備として電気と熱を供給する計画【フォレストエナジー（株）：2020/06/26、都農町：2020/04/21】

<http://forestenergy.jp/2020/06/26/tsuno-3/>
<https://www.town.tsuno.lg.jp/display.php?cont=200420111744>

■京都府舞鶴市の国内最大（66MW）パーム油発電所計画について、日立造船（株）（大阪）が株主総会で撤退表明。発電所はカナダの再生可能エネルギー投資会社アンブ社がオーナーだった「舞鶴グリーン・イニシアティブス合同会社」が事業者、建設と運営・保守を日立造船が担い、2022 年に運開予定だったが、反対する地域住民の声を受けて 4 月 22 日にアンブ社が撤退を表明。6 月 13 日に地域住民を交えて開かれた説明会では、6 月中に出資者が見つからなければ事業主体の解散手続きに入ると説明していた。6 月 23 日に開かれた日立造船の株主総会では、同社株主で「舞鶴西地区の環境を考える会」の森本隆代表がパーム油発電事業の是非を質問。環境への悪影響が世界的に問題視されている点などを踏まえ、今後も事業を行うかどうかについて経営の意向をただし、環境事業本部長の白木敏之常務取締役が今後パーム油発電事業に「取り組まない」とする意向を表明。舞鶴パーム油発電所事業からも撤退する方針を示した【Alternia：2020/06/27、2020/06/17】

<http://www.alterna.co.jp/31401>
<http://www.alterna.co.jp/31310>

■東日本電信電話（株）（東京、以下「NTT 東日本」）とバイオマスリサーチ（株）（北海道）は共同出資を行い、持続可能な畜産・酪農業の実現と地域活性化をめざし、新会社「（株）ピオストック」を北海道帯広市に設立（7 月 1 日）。バイオマスリサーチが独自に設計した小規模バイオガスプラントに、NTT グループの ICT 技術を活用した遠隔監視やオンサイト対応を組み合わせ、これまで導入のハードルが高かったバイオガスプラントを畜産・酪農家が利用しやすい「初期コスト不要、月額利用型モデル」で提供。また、糞尿処理以外の営農業務についても IoT/AI を活用した高度な環境制御や、環境・飼育データの分析による最適な飼養管理システム等を、多彩なパートナーとの連携を通じて提供していく。今後はバイオマスリサーチが既にバイオガスプラントの調査・導入支援を

実施している自治体、JA、畜産・酪農家を中心に事業を行っていく。またバイオガスプラントから発生する余剰熱を（株）NTT アグリテクノロジー（東京）が提供する大規模施設園芸で活用する研究を進めるなど、NTT グループのアセットとバイオマスリサーチのノウハウをベースにパートナーとの連携を通じて、畜産・酪農分野のデジタルトランスフォーメーション（DX）を推進していくとしている【NTT 東日本、ロボスタ：2020/06/29】

https://www.ntt-east.co.jp/release/detail/20200629_02.html
<https://robotstart.info/2020/06/29/biostock.html>

■（株）sonraku（岡山）、木質チップを燃料とする小型木質コージェネレーション事業に参入へ。フィンランド・Volter 社製小型バイオマスコジェネ（電気 40kW、熱 100kW）設備を、西栗倉村を皮切りに、3 年間で全国 15~20 ヶ所程度の地域において導入することを目指す。電気は FIT で売電、熱は熱利用施設に販売する。熱利用施設は主に給湯を想定。宿泊施設、温浴施設、高齢者福祉施設等多岐にわたる可能性を持っており、地域の新しい産業創造にも寄与するとしている【value press：2020/06/30】

<https://www.value-press.com/pressrelease/247162>

■HIS グループの H.I.S.SUPER 電力（株）（東京）が運営するバイオマス発電所「HIS 角田バイオマスパーク」（宮城県角田市）が、新型コロナウイルスの影響で運転開始に遅れ。HIS 角田バイオマスパークは日本初のパーム油を燃料としたコンバインドサイクル発電所。9,789kW のディーゼルエンジン発電機 4 台で発電し、さらにその排熱を利用して 1,940kW の蒸気タービンで発電を行う総出力 41,100kW のバイオマス発電設備。同発電所は当初 7 月に運転開始の予定だったが、新型コロナウイルス感染拡大による入国制限でフィンランドの発電設備の技術者が入国できず、6 月 30 日時点で試運転すらできていない状況。「(運転開始の見通しは立っていない) とのこと【リム情報開発（株）：2020/06/30、H.I.S.SUPER 電力】

<https://www.rim-intelligence.co.jp/news/rre/1544812.html>
<https://www.his-power.jp/>

■経産省資源エネルギー庁、「令和元年度エネルギーに関する年次報告（エネルギー白書 2020）」を発行【資源エネルギー庁：2020/6 月】

<https://www.enecho.meti.go.jp/about/whitepaper/>

■環境省、「令和2年版環境白書・循環型社会白書・生物多様性白書」を発行【環境省：2020/6月】

<https://www.env.go.jp/policy/hakusyo/>

■（一社）林業機械化協会（東京）、「2020 森林・林業・環境機械展示実演会」（北海道会場）開催の1年延期を発表。新型コロナウイルス感染症対策のため。来年の開催日程は今後調整し、詳細が決まり次第連絡するとのこと【（一社）林業機械化協会：2020/07/01】

<https://www.rinkikyo.or.jp/>

■政府、CO₂を多く排出する非効率な石炭火力発電所を2030年度までに段階的に廃止する方向で調整へ。国内にある114基の非効率石炭火力のうち9割弱に当たる100基程度が対象となる見通し。7月3日には梶山経済産業大臣が閣議後の記者会見で非効率石炭火力のフェードアウトに向けた検討について発言。それによるとエネルギー基本計画に明記している非効率な石炭火力のフェードアウトや再エネの主力電源化を目指していく上で、より実効性のある新たな仕組みを導入すべく、今月中に検討を開始し取りまとめるよう事務方に指示したとのこと。具体的には2030年に向けてフェードアウトを確かなものにする新たな規制措置の導入や、安定供給に必要な供給力を確保しつつ、非効率石炭の早期退出を誘導するための仕組みの創設、既存の非効率な火力電源を抑制しつつ、再エネ導入を加速化するような基幹送電線の利用ルールの抜本見直し等の具体策について、地域の実態等も踏まえつつ検討を進めていきたい、としている。しかしフェードアウトし、なおかつ現状のエネルギーミックスを変えない中で想定している代替のエネルギーについて記者に聞かれると、「CO₂や温暖化ガスを減らすという中では原子力発電も一つの選択肢」と返答。7月13日に開催の「電力・ガス基本政策小委員会」提出資料でも、（電力の）安定供給とエネルギーミックスの実現においては、再生エネルギーの主力電源化と並んで「原子力発電所の最大限活用」を掲げている【東京新聞：2020/07/02、経産省：2020/07/03、2020/07/13】

<https://www.tokyo-np.co.jp/article/39343>

<https://www.meti.go.jp/speeches/kaiken/2020/20200703001.html>

https://www.meti.go.jp/shingikai/enecho/denryoku_gas/denryoku_gas/pdf/026_03_00.pdf

■（一社）日本木質バイオマスエネルギー協会（東京）、「国産燃料材の需給動向について（2019（令和元）年度確定値）」を公表。林野庁補助事業2019年度「地域内エコシステム」サポート事業の一環として実施したもの。発電所は、FIT制度に基づき2019年3月時点までに稼働している、間伐材等由来の木質バイオマス（未利用材木質バイオマス）および一般木質バイオマスに区分される発電所（石炭混焼発電所を含む）69カ所が対象。燃料供給会社の方は木質バイオマス発電所が稼働している都道府県において発電所に燃料材を供給しているチップ会社21社を対象としている。下記サイトより閲覧可【（一社）日本木質バイオマスエネルギー協会：2020/07/06】

<https://www.jwba.or.jp/news20200706/>

■（株）ユーグレナ（東京）、微細藻類ユーグレナ（以下「ユーグレナ」）から製造した有機液肥でイチゴ栽培に成功。同社は明治大学黒川農場（神奈川）、戸田建設（株）（東京）、（株）ルートレック・ネットワークス、（神奈川）、（株）DAインベント（愛知）、Office FUJIWARA と共同で、ユーグレナを原料とした有機液肥を用いた農作物の栽培実証を実施。ユーグレナからバイオ燃料の原料となる脂質を抽出する工程で副産物として発生するユーグレナ脂質抽出残渣の有効利用を検討する中で、有機液肥に注目。栽培する農作物によっては有機液肥の原料となる牧草や野菜くず等に有機酸が含まれているため、生育障害が発生することが課題となっていた。そこでイチゴの栽培において、従来の植物性原料から製造した有機液肥、および化学肥料の液肥と比較する研究を実施。その結果ユーグレナ有機液肥は、農作物生育に及ぼす有機酸の被害がみられず、農作物の生育に対して有望であり、また、化学液肥と比較しても収量、品質に差がないことを確認した【PR TIMES：2020/07/06】

<https://prtimes.jp/main/html/rd/p/000000112.000036462.html>

■大王製紙（株）（東京）、同社三島工場（愛媛）バイオマス発電設備の新設工事が完了し、7月3日よりFITを利用した電力販売を開始。同工場ではこれまでもクラフトパルプ製造工程

で発生するパルプ廃液(黒液)を黒液回収ボイラで燃焼させ、エネルギーとして活用するバイオマス発電を行ってきたが、今回新たに最新鋭の黒液回収ボイラを建設。既存設備と比較して5%の効率改善により25,000t/年のCO₂排出量削減(一般家庭の約7,200世帯分に相当)が可能に。発電量は62,920kW。設備投資額約220億円で、そのうちの一部は2018年10月に発行したグリーンボンドを活用。三島工場ではバイオガス製造設備も新設し、今年10月稼働する予定【大王製紙(株)：2020/07/06】

https://www.daio-paper.co.jp/wp-content/uploads/20200706_1.pdf

■(株)エンバイオ・ホールディングス(東京)、7月よりトルコでバイオマス・ガス化発電設備の建設工事に着手すると発表。エンジニアリング会社Renewables Plus Sdn. Bhd.(本社マレーシア)と設立したマレーシアでの合弁会社Carbon & Volts Sdn. Bhd.(以下C&V社)のプロジェクト。トルコ中西部にあるGoynuk(ギユイヌク)では鶏糞を燃料として1.6MWの発電規模、Bolvadin(ボルワディン)ではイネ科の植物のヨシを燃料として4MWの発電規模で行う。発電した電気は米ドルによる10年間の固定価格で売電する計画。2021年1月稼働予定【(株)エンバイオ・ホールディングス：2020/07/06】

<https://enbio-holdings.com/news/000064.html>

■(一社)日本木質バイオマスエネルギー協会(東京)、「【災害被災木】再生利用の手引き・災害被災木の受け入れが可能な事業者一覧」をサイトで公開。大規模自然災害により大量に発生している災害被災木を有効活用するための再生利用の手引き、チップや木粉等に加工できる施設の一覧、およびチップや木粉等になった災害被災木を利用可能な施設の一覧が下記サイトより閲覧可能【(一社)日本木質バイオマスエネルギー協会：2020/07/07】

<https://www.jwba.or.jp/news-20200707/>

■宮城県石巻市須江地区の山林に(株)G-Bioイニシアティブ(東京)が計画する液体バイオマス発電事業の撤回を求める住民団体「環境を守る住民の会(仮称)」が7月5日発足。計画している発電所の原動力は、内燃力発電が9万7,900kW、汽力のコンバインドサイクル発電が4,850kW。汽力はディー

ゼルエンジンとディーゼルエンジンから発生する高温の排ガスで蒸気を発生させ蒸気タービンを回して発電する方式。出力は10万2,750kW。燃料にはマメ科植物から精製される輸入植物油を大型船で海上輸送した後、石巻港の雲雀野中央岸壁を活用して陸揚げする。工事スケジュールは2021年4月頃に造成土木工事に着手、2022年度から本体建設工事を進め、2024年1月頃に試運転を開始し、同年6月頃から営業運転を行う見通し。7月17日には同地区内のしらすぎ台町内会が、環境悪化への不安や事業に反対する意思を市に示し、県や事業者へのはたらきかけを申し入れた【河北新報：

2020/07/07、2020/07/18、日刊建設新聞：2019/02/01】

https://sp.kahoku.co.jp/special/spe1000/20200707_03.html

https://www.kahoku.co.jp/special/spe1000/20190718_14.html

<http://www.jcpress.co.jp/wp01/?p=22894>

■タイの再生可能エネルギー発電大手エナジー・アブソルート(EA)、南部スラタニ県でパーム油工場の運営とバイオマス・バイオガス事業を手掛けるカンチャナディット・パームオイルを買収したと発表(7月2日)。事業拡大の一環【NNA ASIA：2020/07/08】

<https://www.nna.jp/news/show/2064857>

■(株)小松製作所(東京、以下「コマツ」、7月7日までに、石川県小松市の粟津工場で地元産木材のチップを燃料とするバイオマスボイラを2台増設。工場内で使用する冷暖房等に活用する。今回の導入でバイオマスボイラは計6台となり、工場から排出されるCO₂の量は導入前と比べて約15%削減されることに。チップはかが森林組合(同市)から購入。コマツによるとボイラの増設によりチップの年間使用量は5,700tから7,700tに、CO₂削減量は3,000tから4,400tに増加。コマツは2024年までにCO₂の年間排出量を10年比で半減させる計画【北国新聞：2020/07/08】

<https://www.hokkoku.co.jp/subpage/K20200708302.htm>

■(株)モリショウ(大分)、7月初旬に起こった九州豪雨による被害状況についてホームページで報告。7月8日午前2時頃より大分県日田市天瀬付近一帯が停電となった関係で、日本フォレスト(株)天瀬工場(大分)も停電が発生。木質チップ製造に関してはエンジン式チップパー機を稼働させて通常通りの工場生産を行った。同敷地内にある(株)グリーン

発電大分天瀬発電所は安定稼働を継続。日本フォレスト天瀬工場は同日 18 時過ぎに無事停電が復旧したとのこと【(株)モリショウ：2020/07/08】
<http://www.morisho.co.jp/>

■日新商事（株）（東京）、子会社である NISSIN BIO ENERGY SDN. BHD.を通じて、マレーシア・サラワク州のピンツル港からバイオマス発電燃料の PKS 約 1 万 t を初出荷。6 月に日本国内のバイオマス発電事業者へ納入完了。NISSIN BIO ENERGY SDN. BHD.は、2018 年 10 月にマレーシア・サラワク州ピンツルに設立。2019 年 5 月には PKS を貯留して燃料化作業を行うストックパイルを開設している。ストック容量は約 1.5 万 t の規模【OSR No.427：2020/07/08、日新商事（株）：2020/07/02】
<https://www.nissin-shoji.co.jp/tabid/107/Default.aspx?itemid=446>

■アーキアエナジー（株）（東京）が東京都羽村市に 2017 年 4 月より進めてきた羽村バイオガス発電所の建設工事が完了。7 月 9 日に竣工式。「羽村市エネルギー使用の合意化及び地球温暖化対策統合実行計画」を推進している羽村市の協力のもと、同社の掲げる「カロリー・リサイクル」のモデルケースになることを目指して、主に食品・飲料工場などから排出される食品残渣等の廃棄物処理施設およびバイオガス発電施設を運営する。運営主体は合同会社羽村バイオガス発電、オペレーションはアーキアエナジー100%子会社の（株）西東京リサイクルセンター（東京）が行う。約 80t/日の食品残渣等を全て近隣および東京都内から受け入れ、1,100kW の発電機を 24 時間稼働し、770 万 kWh/年（一般家庭約 2,100 世帯分相当）の電力を供給することが可能。発電した電力は東京電力エナジーパートナー（株）（東京）に売電する。同事業は補助金等を一切使わず、全額民間資金による完全なプロジェクト・ファイナンス方式で資金調達している。今回、三井住友ファイナンス&リース（株）（東京）は総事業費 35 億円のうち 22 億円分に相当する設備（メタンガスを取り出す発酵槽や発電機等の設備一式）をリースする契約を締結している。同社は既に第 3 プラント（中部地区）の資金調達中で本年 10 月頃着工、2022 年稼働予定。並行して第 4 プラント（関東首都圏地区）についてもプロジェクト・ファイナンス方式での資

金調達を計画中【アーキアエナジー（株）：2020/07/09、日本経済新聞：2020/04/20、西東京リサイクルセンター】
<https://www.archaea-energy.co.jp/wp-content/uploads/2020/07/20200709.pdf>
<https://www.nikkei.com/article/DGXMZ058176100X10C20A4TJ1000/>
<https://nrc.tokyo.jp/plant/>

■タイの再生可能エネルギー開発会社のアブソルート・クリーン・エナジー（ACE）、バイオマス発電事業を手掛ける地場企業 3 社を買収すると発表（7 月 10 日）。タイ証券取引所への報告によると、送電・通信鉄塔用の鋼構造を製造するウァウイター（UWC）からバイオマス発電子会社の UWC コーメン・バイオマス（UKB、東北部ナコンラチャシマ県で出力 9,900 kW の発電所を運営）、UWC アンファン・バイオマス（UAB、東北部ブリラム県で出力 9,500 kW の発電所を運営）、サトゥエック・バイオマス（SBM、東北部ブリラム県で 7,500 kW の発電所を運営）それぞれの株式 99.99%を総額 8 億 5,120 万バーツ（約 29 億円）で取得する予定。ACE は現在 9 件の発電事業（総出力 8 万 9,100kW）を手掛けており、バイオマス発電所 3 カ所の買収により手掛ける発電事業は 12 件、総出力は 11 万 6,000kW に拡大。同社は 2024 年までに総出力を 100 万 kW まで拡大させることを目指す【NNA ASIA：2020/07/13】
<https://www.nna.jp/news/show/2067852>

■清水建設（株）（東京）とトヨタ ユー・グループ（長野）の合弁事業会社「信州ウッドパワー（株）」が長野県東御市の羽毛山工業団地に建設した木質バイオマス発電所が 7 月 15 日から稼働、20 年間に亘る FIT 売電事業がスタート。信州ウッドパワーが東御市から購入した団地内の敷地に約 30 億円を投じて建設、同社子会社の「信州ウッドチップ（株）」が地域の森林から調達する原木を原材料とする切削チップを燃料に出力 1,990kW の発電装置を稼働させ、中部電力（株）（愛知）に売電する。年間発電量は約 1,350 万 kWh。原木の使用量は約 3 万 t/年。原木を提供する地元の森林施業者、森林組合、山林所有者等からの年間原木買入額は 1 億 5 千万円余りに達する見込み。マツクイムシ被害材も活用する。発電所では、三菱日立パワーシステムズインダストリー（株）（神奈川）と共同開発した発電プラントの運用を遠隔地から支援するプラン

ト運用支援システムや、(株) JEMS (茨城) と共同開発した燃料となる原木の調達ルートを的確に認証できる GPS トレーサビリティシステムを導入。プラントへの燃料チップ投入作業も自動化。清水建設は木質バイオマス発電の適地調査を継続実施するとともに、当地で展開する 2MW クラスの発電所をフルパッケージ化し、第二、第三の発電事業の立ち上げを目指すとしている【清水建設(株)：2020/07/15、信州ウッドパワー(株)】

<https://www.shimz.co.jp/company/about/news-release/2020/2020011.html>

<http://www.shinshuwpc.com/>

■(株) エフオン(東京)、2009年に撤退していた小売電気事業を再開へ。同社は2006年から小売電気事業を展開していたが、厳しい事業環境で2009年に撤退。しかし国内外で低炭素社会実現に向けた取り組みが加速化している昨今の状況を鑑み、九州での再開を決定。(株) エフオン豊後大野(大分)が運営する「エフオン豊後大野発電所(発電出力18,000kW)」で発電した電力を(株) エフバイオスが運営する「豊後大野チップセンター」に対し2020年8月1日から供給する。さらにこれを契機に外部販売に注力し、同社グループのバイオマス発電所の電気を RE100 にも適用可能である「トラッキング付非化石証書」を利用した「実質再生可能エネルギー電気」として供給していく計画。小売電気事業再開により2021年6月期は、3億円程度の売上増を見込む

【(株) エフオン：2020/07/17】

<http://www.ef-on.co.jp/news/200771701.pdf>

■東北おひさま発電(株)(山形)が同県飯豊町に建設していた「ながめやまバイオガス発電所」が完成、9月から発電開始へ。北海道の乳牛では事例の多いバイオガス発電を、米沢牛などの肉牛で始める。8900㎡の敷地に施設を建設。国から「バイオマス産業都市」に認定された同町は水道などのインフラ整備で支援。建設費は10億円で、国から受けた補助は1億6,000万円。周辺にある5軒の畜舎から地下に埋設したパイプラインでフンを集め、発酵させて24時間発電する。発電に使うガスとして発酵させた残りかすは、牧草の肥料に利用するなどエネルギーの循環を徹底させる。発電規模は最大500kW/時。一般家庭900世帯分に相当する3,600MWh/年の

売電量で、1億4,000万円の収入を見込む【毎日新聞：

2020/07/18、日本経済新聞：2020/07/20】

<https://mainichi.jp/articles/20200718/dtl/k06/020/175000c>

https://www.nikkei.com/nkd/industry/article/?DisplayType=1&n_code=012&ng=DGXMZO61735000Q0A720C2L01000

■経産省および農水省、「林業・木質バイオマス発電の成長産業化に向けた研究会」を設立。木質バイオマス発電の発電事業としての自立化と、木質バイオマス燃料の供給元としての森林の持続可能性の確保を両立させるため、両省及び関係事業者団体等が課題認識を共有するとともに、課題解決に向けた方策を官民連携により検討するための場として設置。座長には(国研)森林研究・整備機構林業経営・政策研究領域長の久保山裕史が就任。委員には岡本利彦日本木質ペレット協会会長、酒井秀夫日本木質バイオマスエネルギー協会会長など、実務者のほか学識経験者も名を連ねる。7月20日に開催した第1回では、両省庁が現状と課題等を説明。経産省は、現状バイオマス発電では燃料費がコストの大半(7割)を占めており、燃料用途の木材が副次的な位置づけで供給量の見通しが立たず、生産・輸送システムが燃料向けには過剰で非効率等の課題がある日本の林業政策について言及。コスト低減を実現させるため、国内で活用可能な森林由来の木質バイオマス資源の生産・輸送システムの効率化、および当初から燃料用途の森(エネルギーの森)を目指し、計画的に広葉樹・早生樹の育成を行うなどの案を提示。さらに燃料品質にばらつきがあり、統一的に評価する仕組みが存在しないことから市場において適正な評価を受けるのが難しいといった課題も指摘。持続可能性の確保に向け、ライフサイクルでの温室効果ガスの排出の動向や、木材利用の競合の状況を把握する観点から、森林から発電所までの実態把握の仕組みが構築される必要がある、としている。一方農水省は「既存の木材利用との競合」、「森林資源の持続的な利用」、「木質バイオマス熱利用の推進」に向けてどのような取組ができるかを検討すべき主な論点として挙げている。両省によると第2回会合の日程は未定だが、年内にもう1~2回の開催を検討しているもよう【経産省：2020/07/20、電気新聞、リム情報開発(株)：2020/07/22】

https://www.meti.go.jp/shingikai/energy_environment/biomass_hatsuden/001.html

<https://www.denkishimbun.com/archives/68001>

<https://www.rim-intelligence.co.jp/news/rre/1546706.html>

■（特非）農都会議（東京）、書籍『実務で使うバイオマス熱利用の理論と実践』を7月末に発刊。熱利用の現場では、木質バイオマス・ボイラのエンジニアリングの基礎知識がほとんどないままに設備が計画・設計されている結果、稼働が停まった状態や稼働しても採算が取れないなどの問題を抱えたケースが多数見られる。農都会議は、こうした状況に強い危機感を覚え、2年前に「バイオマスアカデミー」を開設。バイオマス熱利用の技術を平準化して人材育成を行うため、化石燃料とは異なるバイオマスのエンジニアリングを体系的に分

析し、成果をWEBサイト等で広く公開してきた。今回発刊される書籍は、バイオマス熱利用の基本技術とエンジニアリング技術を体系的に整理・集大成し、バイオマスボイラ設備の計画・設計・施行に焦点を当てた画期的な内容とのこと。定価3,000円。下記サイトより購入申し込み可【（特非）農都会議：2020/07/25】

<https://blog.canpan.info/bioenergy/archive/318>

※OSR：バイオマス・再可エネ等の専門情報誌「オンサイト・レポート」の略

2. ペレット関連情報

■アールイープランニング（山形）、木質ペレット燃料による加熱調理器具を搭載したキッチンカーの営業を7月3日に開始。同社は農機具販売の山本商会本店（同）から分社し、2009年に創業。ペレットストーブ等の環境関連機器を取り扱い、山形市内にショールームを構えている。暖房機の需要が夏場に落ち込む現状などを踏まえ、フード事業部を立ち上げてキッチンカーの営業を始めることに。同社製ペレット「con fuoco（コン・フォーコ）」は、庄内海岸の砂防林を間伐した木材を使用。これを活用して調理するピザ窯とオーブンを車内に設置。ハワイに留学経験のあるフード事業部マネージャーの竹田秋平さんが現地で気軽に食べられている「ロコモコ」に引かれ、主力メニューに採用。ロコモコ丼として700円で販売する。当面はショールーム駐車場で営業する予定。新型コロナウイルスの影響で外出をためらう人が多い状況下、テイクアウト用などで購入してもらいたい考え【山形新聞：2020/06/28】

<https://www.yamagata->

np.jp/news/202006/28/kj_2020062800634.php

■（株）レノバ（東京）、6月22日付で宮城県の仙台市環境影響評価条例に基づき、「(仮称) 仙台バイオマス発電事業環境影響評価書」、及びこれを要約した書類を仙台市に提出。同発電所は仙台市宮城野区に建設予定で、出力は国内最大級となる74,950kW。主要な燃料としては主に北米および東南アジア産木質ペレットを使用し、市場の動向に応じて東南アジアから輸入するPKSや海外産（東南アジア、豪州を想定）木質

チップを使用する。また、周辺地域のバイオマス市場に配慮しながら、東北地域の未利用木材の木質チップの受け入れを検討する。ペレットとチップについては森林認証等を得ている木材を使用し、PKSは現地の環境に配慮した生産が行われているものを使用すること。発電した電気はFITを通じて東北電力（株）（宮城）に売電する計画。運転は2023年9月開始予定【（株）レノバ、仙台市：2020/06/26】

https://www.renovainc.com/news/business/20200626_1385/

<https://www.city.sendai.jp/kankyochose/kurashi/machi/kankyo/ozen/kurashi/kankyo/ekyo/jore/biomass/hyokasho.html>

■電源開発（株）（東京、以下「Jパワー」）、2014年3月から広島県竹原市に建設を進めてきた竹原火力発電所新1号機（以下、新1号機）について、6月30日に営業運転を開始したと発表。同工事は旧1号機（25万kW）および旧2号機（35万kW）の合計出力60万kWを同容量の新1号機へ更新したもの。新1号機は、蒸気条件として超々臨界圧を採用すると共に、発電所の熱サイクルを最適化し向上させることで、微粉炭燃焼の火力発電設備として世界最高水準の熱効率約48%（低位発熱量基準）を達成。さらに環境対策設備の導入により、新1号機は旧1・2号機に比べ硫黄酸化物（SOX）・窒素酸化物（NOX）・ばいじんを大幅に削減。また、発電電力量あたりのCO₂排出量を約2割削減しており、加えて国内間伐材による木質ペレットの混焼率10%を目指すことで石炭の使用量を減らし、更なる低炭素化を実現する。Jパワーは住友林業（株）（東京）と共同出資して木質ペレットの製

造・販売を行う「SJウッドペレット（株）」（東京）を2018年に設立。国内の林地未利用木材等を使用する国内最大級の木質ペレット供給体制の2021年の事業化を目指している。Jパワーは既存の発電所でもバイオマス混焼を進め、世界的に批判が高まる石炭火力においてCO₂発生量の削減を図る【Jパワー：2020/06/30、2018/06/19、SankeiBiz：2020/01/28】

https://www.jpowers.co.jp/news_release/2020/06/news200630.html

https://www.jpowers.co.jp/news_release/2018/06/news180619.html

<https://www.sankeibiz.jp/business/news/200128/bsc2001280500009-n1.htm>

■（株）エコネコル（静岡）、同社貿易部門（グローバル資源循環事業）を（株）NEWSCON（東京）に承継し、7月1日より営業を開始。NEWSCONの設立日は4月7日。（株）エンビプロ・ホールディングスが100%株主。製鋼原料やアルミスクラップ、ステンレススクラップなどのリサイクル資源の他、バイオマス原料の輸入事業も扱う。バイオマスではマレーシアとインドネシアにPKSの集荷拠点を構えており、日本のバイオマス発電所への納入実績もある。ベトナム、タイ等にある木質ペレット製造工場とも提携しており、品質管理を行った上で全国のバイオマス発電所に安定供給出来る体制を敷いている【（株）エコネコル：2020/07/01、（株）NEWSCON】

<https://www.econecol.co.jp/2020/07/01/1552/>

<https://www.newscon.co.jp/service/#a-bio>

■静岡県小山町にある「森の金太郎発電所」で7月4日9時頃火災発生。同日11時51分頃鎮火。「バイオマス発電所の建物から煙と炎が見える」と付近の会社の人から消防に通報があった。火災で発電所建屋の外壁が焼けたものの、バイオマス発電設備の損傷はなく、人的被害はなし。ただ、火災発生で発電は止めており、稼働再開のめどは立っていない。火元は現在調査中。同発電所は2018年9月に運転開始。地元の未利用間伐材等を活用した木質ペレットを燃料とする、ドイツのブルクハルト社製発電設備で発電出力165kW。小山町が設置し、大日本コンサルタント（株）（東京）と三洋貿易（株）（同）による合同会社ふじおやまパワーエナジーが管

理・運営を担っている【リム情報開発（株）：2020/07/06、Yahoo! Japan：2020/07/05、小山町：2020/07/06】

<https://www.rim-intelligence.co.jp/news/rre/1545298.html>

<https://news.yahoo.co.jp/articles/8f38a9134a42f0d8ac5606944c7b4699e3726b7f>

http://www.fuji-oyama.jp/top_news_202007061425304.html

■（有）シモタニ（岐阜）、この秋デビュー予定の新製品情報を公表。新製品は「コンコード・メイ」で、「四季を通じて楽しめる新型ペレットストーブ」として紹介されている。本体販売価格はオープン価格。カラーは当初はブラックのみ。出力は2.3～5.0kW(予定)。新型コロナウイルスによる社会混乱もあり、各予定や仕様・デザインが変更になることもあるとのこと。電源周波数60Hz地域のみでの限定先行販売で、50Hz地域では準備が出来次第、同社インスタグラムやフェイスブック等で案内予定【（有）シモタニ：2020/07/07】

<https://www.shimotani.com/info/2020/07/may.html>

■山形県、2019年度末の県エネルギー戦略の進捗状況を取りまとめ。県は、2012年3月に県エネルギー戦略を策定。風力や太陽光、中小水力、バイオマス、地熱・天然ガスの各発電のほか、熱利用などで原発1基分に相当する101.5万kWを開発する目標を掲げている。2019年度はメガソーラーやバイオマス発電所の稼働などで2.3万kW分が新たに加わった。バイオマスでは、発電が0.1万kW増で累計7.6万kW、進捗率542.9%と目標値を大幅に上回っている。ストーブ、ボイラといった木質バイオマス燃焼機器の導入等によるバイオマス熱の開発は0.2万kW（うち、県補助金交付実績：1,666kW）増で累計3.4万kWとなり、進捗率100%に到達。戦略策定以降の再生可能エネルギー全般の開発量は55.8万kWとなり、最終年度の30年度末までの目標に対する進捗率は55.0%に。残り10年で5割超に達していることから県エネルギー政策推進課は「おおむね順調に推移している」としている【山形新聞：2020/07/13、山形県：2020/06/30】

<https://www.yamagata->

np.jp/news/202007/13/kj_2020071300252.php

<https://www.pref.yamagata.jp/ou/kankyenergy/050016/senryaku/shincyoku-r01.pdf>

■国際環境 NGO FoE Japan（東京）、「バイオマス発電に関する提言～FIT法の目的である『環境負荷の低減』の実現を」と題する要請書を、経産省、資源エネルギー庁、農水省、林野庁、環境省宛てに提出（7月14日）。要請書では、多くの輸入バイオマス燃料は、栽培・加工・輸送・燃焼を含めたライフサイクル全体でみたとき化石燃料に匹敵する温室効果ガス（GHG）を排出すること、森林減少などの土地利用転換を含む場合はさらに膨大なGHG排出を伴うこと等を挙げ、問題のあるバイオマス発電によって地球レベル・地域レベルでの環境破壊が進行していることを指摘。これを防ぐため、ライフサイクルを通じてのGHG排出削減が十分期待できない事業、パーム油を燃料とする事業、放射性物質など汚染物質が含まれる燃料を想定している事業をFITの対象から除外すること、また事業者に対して環境影響評価の実施と、地域住民への十分な説明、情報公開、合意の取得を行うこと等を求めている。さらにFITで認定されたバイオマス発電所の多くが輸入燃料に依存しており、例えば木質ペレットの輸入は2019年は160万t超で今後も増加することが予想される一方で、バイオマス発電の燃料生産に伴う森林や生態系破壊、ライフサイクルにわたる

GHGの排出が報告されていることも指摘。FoE Japanは他の環境団体と連携して、資源エネルギー庁や林野庁のバイオマスFITに関するガイドラインの強化を働きかけていく予定とのこと【国際環境 NGO FoE Japan：2020/07/14】

<https://www.foejapan.org/forest/biofuel/200714.html>

■熊本県、「(仮称)くまもと森林発電八代バイオマス発電所建設事業」の環境影響評価書をサイト上で公表中。事業者は(株)エネ・ビジョン(愛知)。熊本県八代市に国内最大級の木質バイオマス発電施設を建設する計画で、発電所の出力は約75,000kW。燃料は米国やカナダから八代港に輸入する木質ペレット、熊本県産木材の未利用材など残材を使う。評価書の縦覧期間は7月14日(火)～8月13日(木)まで、縦覧場所は熊本県庁等県内6カ所【熊本県：2020/07/14、日本経済新聞：2019/03/20】

https://www.pref.kumamoto.jp/kiji_19581.html

<https://www.nikkei.com/article/DGXMZ042715490Q9A320C1LX0000/>

3. イベント情報(国内)

※本メールニュースに掲載のイベントは情報として紹介しているもので、参加を推奨するものではありません。
※新型コロナウイルスの影響により、イベント、展示会で急遽中止や延期を決定される場合があります。開催の有無については各ウェブサイト等で最新情報を確認するようにしてください。

2020年8月24日(月)

港区神明いきいきプラザ4階集会室A(東京都港区)※新型コロナウイルス感染拡大で会場が使用不能となった場合はオンラインでの開催へ変更

<https://blog.canpan.info/bioenergy/archive/317>

◎：木質ペレット燃料、ストーブ、ボイラの関連イベント

■(一社)日本エネルギー学会「第29回日本エネルギー学会大会」

2020年8月5日(水)～7日(金)※7日(金)はテクニカルツアー→中止

富山国際会議場大手町フォーラム(富山県富山市)

<https://www.jie.or.jp/publics/index/557/>

■(特非)農都会議バイオマスWG/地域G 8月勉強会「スマート林業が拓く未来—林業のICT化で変わるサプライチェーン—」

■気候変動・省エネルギー行動会議「BECC JAPAN 2020」

2020年8月25日(火)

オンライン開催

<https://seeb.jp/>

◎リードエグジビジョンジャパン「スマートエネルギーWeek内バイオマス展」【関西展】

2020年9月9日(水)～11日(金)

インテックス大阪(大阪府大阪市)

<https://www.bm-expo.jp/ja-jp.html>

■（一財）新エネルギー財団「令和2年度新エネルギー人材育成研修会『新エネ基礎コース』」

2020年9月17日（木）

AP 虎ノ門、11階会議室 C+D（東京都港区）

<https://www.nef.or.jp/topics/2020/20200710.html>

■（一社）林業機械化協会「2020 森林・林業・環境機械展示実演会」

2020年10月4日（日）～5日（月）→来年に延期

苫小牧東部地域（北海道苫小牧市）

<https://www.rinkikyo.or.jp/>

◎CMT「11th Biomass Pellets Trade & Power 第11回バイオマス・ペレット会議～貿易と発電～」

2020年11月4日（水）～6日（金）

バーチャル会議

<https://www.cmtevents.com/aboutevent.aspx?ev=V200501&>

■バイオマスエキスポ事務局「バイオマスエキスポ2020」

2020年11月11日（水）～13日（金）

東京ビッグサイト青海展示棟（「アグロ・イノベーション2020」内、東京都江東区）

<https://www.biomassexpo.info/expo/>

■（公社）環境生活文化機構「2020年度持続可能な社会づくり活動表彰式」

2020年11月24日（火）

<https://www.elco.or.jp/publics/index/29/>

■（一社）サステナブル経営推進機構、他「エコプロ2020『持続可能な社会の実現に向けて』」

2020年11月26日（木）～28日（土）

東京ビッグサイト西ホール（東京都江東区）

<https://eco-pro.com/2020/>

■（公社）国土緑化推進機構、他「『森林からはじまるエコライフ展2020』～森と木で拓くSDGsの提案～」

2020年11月26日（木）～28日（土）

東京ビッグサイト西ホール（東京都江東区）（エコプロ2020会場内）

[https://eco-](https://eco-pro.com/eco2020/pdf/forest_exhibition_guidance_2020.pdf)

[pro.com/eco2020/pdf/forest_exhibition_guidance_2020.pdf](https://eco-pro.com/eco2020/pdf/forest_exhibition_guidance_2020.pdf)

■林業経済学会 2020 年秋季大会

2020年12月1日（火）～10日（木）

WEB上での開催

http://www.jfes.org/kenkyukai/JFES_2020_Fall/2020_fall.html

■（一財）新エネルギー財団「令和2年度『新エネ大賞』表彰式」

2021年1月26日（火）

日本記者クラブ（日本プレスセンタービル10階ホールABC）（東京都千代田区）

https://www.nef.or.jp/award/boshu/boshu_r02.html

◎リードエグジビションジャパン「スマートエネルギーWeek内バイオマス展」【東京展】

2021年3月3日（水）～5日（金）

東京ビッグサイト（東京都江東区）

<https://www.bm-expo.jp/ja-jp.html>

◎日本ペレットストーブ工業会「第2回 JAPAN PELLETSTOVE SHOW in Nagoya」／2021年度総会

2021年5月（予定）

愛知県名古屋市

◎12th Biomass Pellet Trade & Power Summit

2021年5月10日（月）～13日（木）

東京

<https://www.cmtevents.com/aboutevent.aspx?ev=210501&>

■ISAP2020 日本開催組織委員会「国際応用藻類学会第7回大会（ISAP2020）」

2021年5月23日（日）～28日（金）

つくば国際会議場（茨城県つくば市）

<https://isap2020-phycology.org/index.html>

■日報ビジネス（株）「2021 NEW 環境展」「2021 地球温暖化防止展」

2021年5月

東京ビッグサイト（東京都江東区）

<https://www.nippo.co.jp/n-expo019/index.htm>

◎リードエグジビションジャパン「スマートエネルギーWeek
内バイオマス展」【関西展】

2021年9月29日（水）～10月1日（金）

インテックス大阪（大阪府大阪市）

<https://www.bm-expo.jp/ja-jp.html>

◎リードエグジビションジャパン「スマートエネルギーWeek
内バイオマス展」【東京展】

2022年3月2日（水）～4日（金）

東京ビッグサイト（東京都江東区）

<https://www.bm-expo.jp/ja-jp.html>

◎リードエグジビションジャパン「スマートエネルギーWeek
内バイオマス展」【関西展】

2022年9月28日（水）～30日（金）

インテックス大阪（大阪府大阪市）

<https://www.bm-expo.jp/ja-jp.html>

4. イベント情報（海外）

◎The 9th Asia-Pacific Biomass Energy Exhibition (APBE 2020)

2020年8月16日（日）～18日（火）

広州市（中国）

<https://pellets-wood.com/the-9th-asia-pacific-biomass-energy-exhibition-ap-o20933.html>

◎Advanced Biofuels Conference 2020

2020年9月15日（火）～17日（木）

ストックホルム（スウェーデン）

<https://www.svebio.se/en/evenemang/advanced-biofuels-conference-2020/>

■European Biogas Conference 2020

2020年9月1日（火）～4日（金）

オンライン

<https://www.europeanbiogas.eu/europeanbiogasconference/>

■International Fuel Ethanol Workshop & Expo

2020年9月15日（火）～17日（木）

バーチャル会議

<http://www.fuelethanolworkshop.com/ema/DisplayPage.aspx?pageld=Home>

■Expobiogaz 2020

2020年9月2日（水）～3日（木）

リール（フランス）

<https://www.expo-biogaz.com/en/show/lille>

■BIODIESEL Production Technology Summit

2020年9月15日（火）～17日（木）

バーチャル会議

<http://www.biodieseltechnologysummit.com/ema/DisplayPage.aspx?pageld=Home>

■Biomass Trade Summit Europe 2020

2020年9月9日（水）～10日（木）

アムステルダム（オランダ）

<https://www.wplgroup.com/aci/event/biomass-trade/>

■20th Congress for Wood Energy

2020年9月22日（火）～30日（水）

ウェビナー

<https://www.fachkongress-holzenergie.de/en>

◎Svebio Fuel Market Day 2020

2020年9月10日（木）

<https://www.svebio.se/en/evenemang/svebio-fuel-market-day/>

■Gasification Summit 2020

2020年9月23日（水）～24日（木）

リヨン（フランス）

<https://www.wplgroup.com/aci/event/gasification/>

■ASIA Solid Fuels 2020

2020年9月28日(月)～29日(火)

バーチャル会議

<https://www.cmtevents.com/aboutevent.aspx?ev=V200821&>

■EFIB 2020

2020年10月5日(月)～9日(金)

オンライン

<https://efibforum.com/>

■13th Biofuels International Conference & Expo

2020年10月6日(火)～7日(水)

ブリュッセル(ベルギー)

https://www.biofuels-news.com/conference/biofuels/biofuels_index_2020.php

■International Biomass Congress & Expo

2020年10月6日(火)～7日(水)

ブリュッセル(ベルギー)

https://www.bioenergy-news.com/conference/biomass/biomass_index_2020.php

■International Biogas Congress & Expo

2020年10月6日(火)～7日(水)

ブリュッセル(ベルギー)

https://www.bioenergy-news.com/conference/biomass/biomass_index_2020.php

■PALMEX Indonesia 2020

2020年10月6日(火)～8日(木)

メダン(インドネシア)

<http://palmoilexpo.com/>

■THE WORLD BIOGAS EXPO 2020

2020年10月6日(火)～8日(木)

オンライン

<http://www.biogastradeshows.com/>

■Biogas Development Forum

2020年10月12日(月)

バーチャル会議

https://informaconnect.com/biogas-development-forum/?vip_code=FKA2758BIOINS&utm_source=Bioenergy%20Insight&utm_medium=referral&utm_campaign=Bioenergy%20Insight%20Banner%20referral&utm_content=FKA2758BIOINS&tracker_id=FKA2758BIOINS

■100% RHC EVENT 2020 & the International Sustainable Energy Conference - ISEC 2020

2020年10月15日(木)

オンライン

<https://www.rhc-platform.org/100-rhc-event-2020-the-international-sustainable-energy-conference-isec-2020/>

■7th International Conference on Renewable Energy Gas Technology, REGATEC 2020

2020年10月15日(木)～16日(金)

ヴァイマル(ドイツ)

<http://regatec.org/>

■10th European Algae Industry Summit

2020年10月20日(火)～21日(水)

レイキャビク(アイスランド)

<https://www.wplgroup.com/aci/event/european-algae-industry-summit/>

■World Bio Markets 2020

2020年11月2日(月)～4日(水)

アムステルダム(オランダ)

https://www.worldbiomarkets.com/?utm_source=BioenergyInsight&utm_medium=affiliate&utm_campaign=mp_WBM20_BioenergyInsight_eventcalendar

■RWM & Future Resource 2020

2020年11月3日(火)～4日(水)

バーミンガム(UK)

<https://www.rwmexhibition.com/>

■ECOMONDO The Green Technology EXPO

2020年11月3日(火)～6日(金)

リミニ(イタリア)

<https://en.ecomondo.com/>

■All Energy 2020

2020年11月4日(水)～5日(木)

グラスゴー(スコットランド)

<https://www.all-energy.co.uk/register>

■Future of Biogas Europe 2020

2020年11月11日(水)～12日(木)

ベルリン(ドイツ)

<https://www.wplgroup.com/aci/event/future-biogas-europe/>

■2nd Global Biofuels Virtual Conference

2020年11月17日(火)～18日(水)

バーチャル会議

<https://www.cmtevents.com/aboutevent.aspx?ev=V201126&>

■European Bioenergy Future 2020

2020年11月17日(火)～19日(木)

ブリュッセル(ベルギー)

<https://bioenergyeurope.org/events/11-events/159-european-bioenergy-future-ebf-2020.html>

■European Biosolids & Organic Resources Conference

2020年11月24日(火)～25日(水)

ニューカッスル・アボン・タイン(UK)

<http://european-biosolids.com/>

■POLLUTEC

2020年12月1日(火)～4日(金)

リヨン(フランス)

<https://www.pollutec.com/en/home/>

■Fuels of The Future 2021

2021年1月18日(月)～19日(火)

ベルリン(ドイツ)

<https://www.fuels-of-the-future.com/>

■POWERGEN INDIA

2021年1月27日(水)～29日(金)

ニューデリー(インド)

<https://www.powergen-india.com/>

■World Sustainable Energy Days 2021

2021年2月24日(水)～26日(金)

ヴェルス(オーストリア)

<https://www.wsed.at/en/world-sustainable-energy-days.html>

◎European Pellet Conference 2021

2021年2月24日(水)～25日(木)

ヴェルス(オーストリア)

<https://www.wsed.at/en/programme/european-pellet-conference.html>

◎International Biomass CONGRESS & EXPO

2021年3月23日(火)～24日(水)

ブリュッセル(ベルギー)

<https://www.bioenergy->

[news.com/conference/biomass/biomass_index_2021.php](https://www.bioenergy-news.com/conference/biomass/biomass_index_2021.php)

◎13th Biofuels International Conference & Expo

2021年3月23日(火)～24日(水)

ブリュッセル(ベルギー)

<https://www.biofuels->

[news.com/conference/biofuels/biofuels_index_2021.php](https://www.biofuels-news.com/conference/biofuels/biofuels_index_2021.php)

■International Biogas Congress & Expo

2021年3月23日(火)～24日(水)

ブリュッセル(ベルギー)

<https://www.bioenergy->

[news.com/conference/biogas/biogas_index_2021.php](https://www.bioenergy-news.com/conference/biogas/biogas_index_2021.php)

■Elmia Wood

2021年5月18日(火)～21日(金)

ヨンショーピン(スウェーデン)

<https://www.elmia.se/wood/>

■International Conference Progress in Biogas 2021

2021年9月22日(水)～24日(金)

シュトゥットガルト(ドイツ)

<https://ibk-biogas.com/schedule/progress-in-biogas/>

■16th International Conference BIOMASS for ENERGY

2021年9月

キエフ(ウクライナ)

<https://uabioconf.org/en/>

■IFAT 2020

2022年5月30日(月)～6月3日(金)

ミュンヘン(ドイツ)

<https://www.ifat.de/en/>

5. 2020年度ペレットストーブ、ボイラ補助金情報(都道府県順)

※締切や公募の条件等の詳細は各自自治体にお問い合わせください。

※前号までに掲載した情報はホームページの「導入補助情報まとめ」に載せていますので、そちらをご覧ください。

◇: ストーブ

◆: ストーブ・ボイラ共

【宮城県】

◆宮城県「令和2年度木質バイオマス広域利用モデル形成事業のうち『木質バイオマス活用施設導入支援』(二次募集)」

<https://www.pref.miyagi.jp/soshiki/ringyo-sk/r2-miyagi-biomass.html>

【山形県】

◇高島町「令和2年度再生可能エネルギー設備導入補助金」

<https://www.town.takahata.yamagata.jp/kurashi/juminnokatahe/kankyo/Saiene.html>

◇南陽市「令和2年度木質燃料利用促進事業補助金」

<http://www.city.nanyo.yamagata.jp/mokuzai/3209>

◇西川町「令和2年度西川町薪ストーブ等利用拡大支援事業」

https://www.town.nishikawa.yamagata.jp/chomin/05/2019-0514-0944-78_makisutobu.html

◆真室川町「真室川町薪ストーブ等利用拡大支援事業費補助金」

<https://www.town.mamurogawa.yamagata.jp/docs/2018120400400/>

◆山形市「令和2年度薪ストーブ等利用拡大支援事業補助金」

<https://www.city.yamagata-yamagata.lg.jp/shimin/sub4/energy/9e118pd0323105020.html>

【東京都】

◇八王子市「令和2年度(2020年度)再生可能エネルギー利用機器等設置費補助制度」

<https://www.city.hachioji.tokyo.jp/kurashi/life/004/a546973/a871645/p007132.html>

【長野県】

◆伊那市「伊那市森のエネルギー推進事業補助金」

https://www.inacity.jp/sangyo_noringyo/noringyo/ringyo/mokushitsubaomasu/pelletstove.html

◆上田市「森のエネルギー推進事業補助金」

<https://www.city.ueda.nagano.jp/soshiki/sinrin/1469.html>

※8月31日から受付開始

◆佐久市「佐久市木質バイオマス熱利用設備導入事業補助金」

https://www.city.saku.nagano.jp/kurashi/kankyo_kogai/shin_energy/h27mokushitsubio.html

◇中野市「中野市ペレットストーブ等購入費助成金」

<https://www.city.nakano.nagano.jp/docs/2020062400011/>

◇松本市「松本市ペレットストーブ購入補助事業」

<https://www.city.matsumoto.nagano.jp/smph/kurasi/sigoto/ringyo/osirase/peretto.html>

【兵庫県】

◇兵庫県西播磨県民局「西播磨地域木質バイオマス活動支援事業（木質バイオマス暖房機器導入支援）」

<https://web.pref.hyogo.lg.jp/whk08/nishiharima-biomass.html>

【鳥取県】

◇三朝町「令和2年度三朝町住宅用太陽光発電システム等設置費補助金」

<http://www.town.misasa.tottori.jp/315/319/324/764/3726.html>

6. 公募等情報（締切順）

■長野県「令和2年度自然エネルギー地域発電推進事業対象事業募集」

募集期間（第二次募集）2020年7月3日（金）～8月3日（月）

<https://www.pref.nagano.lg.jp/ontai/kurashi/ondanka/shizen/tij/kihatuden-suishin.html>

■（公財）日本生態系協会『『関東・水と緑のネットワーク』第12回募集』

応募締切 2020年8月17日（月）

<http://www.ecosys.or.jp/100select/12th/index.html>

■イオン環境財団「第30回イオン環境活動助成公募」

募集期間 2020年7月1日（水）～8月20日（木）

<https://www.aeon.info/ef/>

■山形県「令和2年度山形県3R研究開発事業費補助金の事業計画募集」

募集期間 ～2020年8月24日（月）

https://www.pref.yamagata.jp/ou/kankyoenery/050010/3rkenkyukaihatsu/R2_3Rhojyokin_bosyuu.html

■北海道「令和2年度北海道省エネルギー・新エネルギー促進大賞の候補者を募集しています！」

応募受付期間 2020年6月24日（水）～8月28日（金）

<http://www.pref.hokkaido.lg.jp/kz/kke/sene2/sokusintaisyobosyu.htm>

■滋賀県「令和2年度滋賀県分散型エネルギーシステム導入加速化事業補助金」

募集期間 4次締切:2020年8月31日（月）

最終締切:2020年9月30日（水）

<https://www.pref.shiga.lg.jp/ippan/kankyoshizen/ondanka/311787.html>

■滋賀県「令和2年度滋賀県省エネ設備導入加速化事業補助金の募集について」

募集期間 4次締切:8月31日（月曜日）

最終締切:9月30日（水曜日）

<https://www.pref.shiga.lg.jp/kensei/koho/e-shinbun/bosyuu/311718.html>

■北海道「エネルギー地産地消事業化モデル支援事業（新エネルギー有効活用モデル）」

公募期間: 2020年6月10日（水）～8月31日（月）

<http://www.pref.hokkaido.lg.jp/kz/kke/emodel-yukokatsuyo.htm>

■北海道「新エネルギー設計支援事業」

公募期間: 2020年6月10日（水）～8月31日（月）

<http://www.pref.hokkaido.lg.jp/kz/kke/sekkeishien.htm>

■北海道「令和2年度（2020年度）地域資源活用基盤整備支援事業費補助金」

公募期間: 2020年6月10日（水）～8月31日（月）

<http://www.pref.hokkaido.lg.jp/kz/kke/kiban.htm>

■北海道「地域新エネルギー導入加速化調査支援事業」

公募期間: 2020年6月10日（水）～8月31日（月）

<http://www.pref.hokkaido.lg.jp/kz/kke/chousashien.htm>

■愛媛県「再生可能エネルギー及び水素エネルギー導入可能性調査事業補助事業者募集」

公募期間 2020年4月1日（水）～8月31日（月）

<https://www.pref.ehime.jp/h15600/energy/kanouseichousa.html>

■（公財）SOMPO 環境財団「学術研究助成」

募集期間 ～2020年8月31日(月)

<https://www.sompo-ef.org/academic/academic.html>

■（公社）環境生活文化機構「2020年度持続可能な社会づくり活動表彰募集」

応募締切 2020年8月31日(月)

<https://www.elco.or.jp/publics/index/29/>

■（公財）SOMPO 環境財団「学術研究助成」

応募締切 2020年8月31日(月)

<https://www.sompo-ef.org/academic/academic.html>

■トヨタ環境活動助成プログラム事務局「トヨタ環境活動助成プログラム」

募集期間 2020年4月6日(月)～9月3日(木)

<https://global.toyota.jp/sustainability/esg/challenge2050/challenge6/ecogrant/>

■福岡県北九州市「令和2年度北九州市中小企業高度エネルギーマネジメント推進支援事業」

申請期間 2020年6月1日(月)～9月4日(金)

<https://www.kitakyushu.or.jp/topics/003564>

■福島県「令和2年度福島県地域参入型再生可能エネルギー導入支援事業（設備導入事業）補助金」

応募期間 2020年6月4日(木)～9月30日(水)

<https://www.pref.fukushima.lg.jp/sec/11025c/chiset01.html>

■福島県「令和2年度地域参入型再生可能エネルギー導入支援事業（再生可能エネルギー事業可能性調査補助事業）補助金」

募集期間 2020年6月4日(木)～2020年9月30日(水)

<https://www.pref.fukushima.lg.jp/sec/11025c/chisanfs01.html>

■福島県「令和2年度福島県自家消費型再生可能エネルギー導入モデル支援事業補助金」

応募期間 ～2020年9月30日(水)

<https://www.pref.fukushima.lg.jp/sec/11025c/jika-shohi-r2.html>

■農林中央金庫「2020年度林業労働安全性向上対策事業」

下期募集 2020年9月1日(火)～9月30日(水)

https://www.nochubank.or.jp/news/news_release/2020/2020.html

■（一社）環境共創イニシアチブ「令和2年度地域の系統線を活用したエネルギー面的利用事業費補助金（地域マイクログリッド構築事業）」

公募期間 3次締切：2020年9月30日(水)

<https://sii.or.jp/microgrid02/note1.html>

■神奈川県相模原市「中小規模事業者省エネルギー設備等導入支援補助」

募集期間 2020年6月22日(月)～9月30日(水)

<https://www.city.sagamihara.kanagawa.jp/kurashi/kankyo/hojyo/1008084.html>

■栃木県「低炭素社会づくり促進事業費補助金」

申請受付期間 2020年6月1日(月)～11月6日(金)

<http://www.pref.tochigi.lg.jp/d02/kouhou/teitansosyakaidukurihojyo.html>

■（公財）ひょうご環境創造協会「令和2年度中小事業者省エネ設備等導入支援事業補助金」

募集対象期間 2020年5月7日(木)～12月25日(金)

<http://www.eco-hyogo.jp/index.php/global-warming/tyuushou2020/>

■奈良県「令和2年度事業所エネルギー効率的利用推進事業補助金」

募集期間 2020年5月19日(火)～12月28日(月)

<http://www.pref.nara.jp/33062.htm>

■神奈川県川崎市「市内事業者エコ化支援事業」

募集期間 ～2021年1月15日(金)

<http://www.city.kawasaki.jp/300/page/0000116071.html>

■埼玉県本庄市「本庄市事業所用エネルギーシステム導入事業補助金」

受付開始 2020年4月1日(水) ※2021年2月26日(金)ま

でに実績報告書が提出できるよう申請

http://www.city.honjo.lg.jp/business_sangyo/kigyoyuchi/1396333634935.html

■神奈川県小田原市「小田原市再生可能エネルギー事業奨励金」

申請書提出期限 2021年2月26日(金)

<https://www.city.odawara.kanagawa.jp/field/envi/energy/bounty/incentivefee.html>

■鳥取県「鳥取県再生可能エネルギー活用事業可能性調査支援補助金」

募集期間 2020年4月1日(水)～2021年2月28日(日)

<https://www.pref.tottori.lg.jp/195435.htm>

■鳥取県「鳥取県再生可能エネルギー発電事業支援補助金」

募集期間 2020年4月1日(水)～2021年2月28日(日)

<https://www.pref.tottori.lg.jp/204033.htm>

■兵庫県宍粟市「木質バイオマス燃料製造設備導入費用を助成」

受付期間 2020年4月1日(水)～2021年3月16日(火)

<https://www.city.shiso.lg.jp/soshiki/shiminseikatsu/seikatsueisei/tantojoho/shinenerugi/1515747696234.html>

■京都府「自立型再生可能エネルギー導入等計画の認定及び導入支援制度」

計画認定申請期間 2015年10月1日(木)～2021年3月31日(水)

<http://www.pref.kyoto.jp/energy/documents/ninteiseidogaiyou.pdf>

■東京都「地方卸売市場省エネルギー等対応施設整備補助金」

受付期間 2017年4月1日(土)～2022年3月31日(木)

<https://www.shijou.metro.tokyo.lg.jp/jouhoukoukai-portal/pdf/jiritsu/hojo/g3-3.pdf>

■東京都「東京都区市町村との連携による地域環境力活性化事業」

事業期間 2014年度～2023年度

http://www.kankyo.metro.tokyo.jp/policy_others/municipal_support/current.html

■高知県「高知県木質資源利用促進事業費補助金」

<http://www.pref.kochi.lg.jp/soshiki/030501/2019022200068.html>

■高知県「再生可能エネルギー利活用事業費補助金」

<http://www.pref.kochi.lg.jp/soshiki/610301/2015060100117.html>

■高知県香南市「香南市燃料タンク対策事業費補助金」

http://www.city.kochi-konan.lg.jp/reiki_int/reiki_honbun/r254RG00001291.html

■高知県仁淀川町「仁淀川町再生可能エネルギー利活用事業費補助金」

http://www.town.niyodogawa.lg.jp/reiki/reiki_honbun/r191RG0000129.html#e000000030

■北海道「林業・木材産業改善資金」

<http://www.pref.hokkaido.lg.jp/sr/rrm/kaizennshikinn.pdf>

■栃木県「栃木県環境保全資金(省エネ設備等の導入)」

<http://www.pref.tochigi.lg.jp/d02/eco/kankyuu/ondanka/syouene-setubi-yuusi.html>

※融資制度

■徳島県「自然エネルギー立県とくしま推進資金貸付制度」

<https://www.pref.tokushima.lg.jp/jigyoshanokata/kurashi/shizen/5007685/>

※融資制度

■奈良県「新エネルギー等対策資金」

<http://www.pref.nara.jp/23346.htm>

※融資制度

■(公財)日本環境協会「令和2年度環境配慮型融資促進利子補給事業」

https://www.jeas.or.jp/activ/prom_24_00.html

※融資制度

■横浜市「よこはまプラス資金（環境・エネルギー対策）」

<https://www.city.yokohama.lg.jp/business/bunyabetsu/kankyo-koen-gesui/plus/hozenshikin.html>

※融資制度

■千葉県「環境保全資金（制度全般事業認定）」

<https://www.pref.chiba.lg.jp/shigen/chikyukankyou/ne/shien-jigyousha.html>

■千葉県市原市「市原市企業立地促進条例」

<http://www.city.ichihara.chiba.jp/kanko/0205sangyou/kigyourittigaido.html>

■千葉県南房総市「南房総市施設園芸用木質バイオマス暖房機設置費等補助金」

<https://www.city.minamiboso.chiba.jp/0000007149.html>

■（独）農林漁業信用基金「災害で被災された方の支援について（新型コロナウイルス感染症による影響を含む）」

<https://www.jaffic.go.jp/guide/rin/shien/index.html>